

# 航空保安検査の高度化について

---

国土交通省航空局安全部  
安全企画課航空保安対策室

30年度予算額59(19)億円

国際拠点空港810(709)億円の内数

※( )内は前年度予算

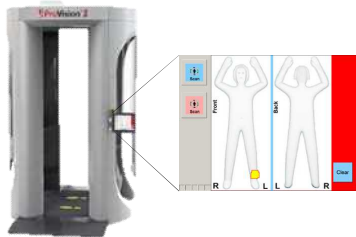
「テロに強い空港」を目指し、ボディスキャナーをはじめ、先進的な保安検査機器(爆発物自動検知機器等)の導入を推進することにより、航空保安検査の高度化を図ります。

具体的には、先進的な保安検査機器については、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催までの導入を推進します。特にボディスキャナーについては、2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催までの整備完了を目指します。

また、高性能X線検査装置等の導入に伴い必要となるターミナル改修への補助を実施します。

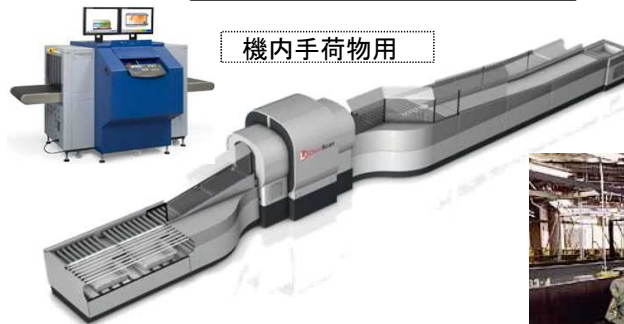
## 先進的な保安検査機器

ボディスキャナー



現行の接触検査に代わるものとして、自動的に非接触で人体表面の異物を検知する装置

高性能X線検査装置



機内手荷物用

機内持込・受託手荷物のX線検査機器のうち、爆発物を自動的に検知するシステム

ETD(蒸散痕跡物等利用爆発物検査装置)



液体爆発物検査装置



受託手荷物用

先進的な保安検査機器の整備費については、空港設置管理者の1/2補助に加え、国として1/2を補助。

## 期待される効果

検査に係る旅客の負担を抑え、検査の円滑化を図りつつ保安検査の厳格化を実現。

⇒ 「航空セキュリティの向上」と「観光先進国実現」の両立に寄与。